

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年7月12日(2012.7.12)

【公開番号】特開2011-240156(P2011-240156A)

【公開日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【年通号数】公開・登録公報2011-048

【出願番号】特願2011-168807(P2011-168807)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月29日(2012.5.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球を用いて所定の遊技を行うことが可能であり、各々を識別可能な複数種類の識別情報の可変表示を行い表示結果を導出表示する可変表示装置を備え、該可変表示装置に特定表示結果が導出表示されたときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に移行させる遊技機であって、

前記特定遊技状態において開放状態に変化可能な可変入賞球装置と、

前記可変入賞球装置に入賞した遊技球を検出して検出信号を出力する検出手段と、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

前記遊技制御手段が送信するコマンドにもとづいて、前記可変表示装置を含む演出装置の制御を行う演出制御手段とを備え、

前記特定遊技状態には、遊技者にとって有利な開放パターンで前記可変入賞球装置を前記開放状態に制御する第1特定遊技状態と、前記有利な開放パターンに比べて遊技者にとって不利な開放パターンで前記可変入賞球装置を前記開放状態に制御する第2特定遊技状態とが含まれ、

前記遊技制御手段は、

前記特定遊技状態に移行させるか否かと、前記特定遊技状態に移行させる場合に前記第1特定遊技状態とするか前記第2特定遊技状態とするのかを表示結果の導出表示以前に決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段の決定にもとづいて、前記可変表示装置における識別情報の可変表示の開始と可変表示時間とを特定可能な可変表示コマンドを送信する可変表示コマンド送信手段と、

前記事前決定手段の決定結果にもとづいて前記第1特定遊技状態においても前記第2特定遊技状態においても共通の処理ルーチンにより前記可変入賞球装置を制御する状態制御手段と、

前記検出手段からの前記検出信号を入力したか否かを判定する入賞判定手段と、

前記特定遊技状態以外の遊技状態において前記入賞判定手段が前記検出信号を入力したことにもとづいて、異常報知の実行を指示するための異常報知コマンドを送信する異常報知コマンド送信手段とを含み、

前記異常報知コマンド送信手段は、前記第1特定遊技状態であるときにも前記第2特定遊技状態であるときにも異常報知コマンドを送信する処理を実行せず、

前記演出制御手段は、

前記可変表示コマンド送信手段が送信した可変表示コマンドにもとづいて前記可変表示装置において識別情報の可変表示を開始し、前記可変表示時間が経過したときに可変表示装置に表示結果を導出表示する可変表示制御手段と、

前記異常報知コマンド送信手段が送信した異常報知コマンドにもとづいて、前記演出装置により異常報知を行う異常報知手段とを含む

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

特許文献1に記載されている遊技機では、大入賞口への入賞許容値以上の入賞が検出されると、異常入賞が発生したと判定される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

しかし、大入賞口が開放しているときの入賞信号を計数する必要があり、異常入賞検出のための処理は簡易ではない。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

そこで、本発明は、簡易な処理で異常入賞を検出できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明による遊技機は、遊技球を用いて所定の遊技を行うことが可能であり、各々を識別可能な複数種類の識別情報（例えば、特別図柄や飾り図柄）の可変表示を行い表示結果を導出表示する可変表示装置（例えば、特別図柄表示器8や可変表示装置9）を備え、該可変表示装置に特定表示結果（例えば、大当たり図柄）が導出表示されたときに遊技者にとって有利な特定遊技状態（例えば、大当たり遊技状態）に移行させる遊技機であって、特定遊技状態において開放状態に変化可能な可変入賞球装置（例えば、特別可変入賞球装置20）と、可変入賞球装置に入賞した遊技球を検出して検出信号を出力する検出手段（例えば、カウントスイッチ23）と、遊技の進行を制御する遊技制御手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560）と、遊技制御手段が送信するコマンド（例えば、演出制御コマンド）にもとづいて、可変表示装置を含む演出装置の制御を行う演出制御手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100）とを備え、特定遊技状態には、遊技者に

とって有利な開放パターンで可変入賞球装置を開放状態に制御する第1特定遊技状態と、有利な開放パターンに比べて遊技者にとって不利な開放パターンで可変入賞球装置を開放状態に制御する第2特定遊技状態とが含まれ、遊技制御手段は、特定遊技状態に移行させるか否かと、特定遊技状態に移行させる場合に第1特定遊技状態とするか第2特定遊技状態とするのかを表示結果の導出表示以前に決定する事前決定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560において、ステップS62、S63の処理を実行する部分）と、事前決定手段の決定にもとづいて、可変表示装置における識別情報の可変表示の開始と可変表示時間とを特定可能な可変表示コマンド（例えば、変動パターンコマンド）を送信する可変表示コマンド送信手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560において、ステップS103の処理を実行する部分）と、事前決定手段の決定結果にもとづいて第1特定遊技状態においても第2特定遊技状態においても共通の処理ルーチンにより可変入賞球装置を制御する状態制御手段と、検出手段からの検出信号を入力したか否かを判定する入賞判定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560において、ステップS331～S338、S351～S356、S361の処理を実行する部分。特に、カウントスイッチ入力ビット判定値を用いてステップS355、S361の処理を実行する部分）と、特定遊技状態以外の遊技状態において入賞判定手段が検出信号を入力したことにもとづいて、異常報知の実行を指示するための異常報知コマンドを送信する異常報知コマンド送信手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560において、ステップS585、S587～S589の処理を実行する部分）とを含み、異常報知コマンド送信手段は、第1特定遊技状態であるときにも第2特定遊技状態であるときにも異常報知コマンドを送信する処理を実行せず、演出制御手段は、可変表示コマンド送信手段が送信した可変表示コマンドにもとづいて可変表示装置において識別情報の可変表示を開始し、可変表示時間が経過したときに可変表示装置に表示結果を導出表示する可変表示制御手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100において、ステップS800～S803の処理を実行する部分）と、異常報知コマンド送信手段が送信した異常報知コマンドにもとづいて、演出装置により異常報知を行う異常報知手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100において、ステップS906～S909、S845A、S845Cの処理を実行する部分）とを含むことを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項1記載の発明では、簡易な処理で異常入賞を検出できる。